

## ～今まで習った英語をそのまま現地で使うと危険かも!?～ 英語話者はこう使う！間違いだらけの英会話フレーズ

### ✓ 「頑張って」は **Do your best** ?

間違いではないが不自然に聞こえるときがあるので要注意！  
どんなシチュエーションでも自然に聞こえるのは…

**Good Luck!**

**Break a leg!**

**You can do it!**



### ✓ 「頑張ります！」 **I'll do my best** というと怒られる？

頑張る=Do my best と習いませんでしたか？これには要注意です。  
“Do my best” の意味には「頑張ります (失敗する可能性がある)」という隠れた意味を秘めています。他にも “I'll try my best” もよく聞きますが、これはさらに自信なさそうに聞こえるので使う際には注意しましょう。  
ではなんて言えばいいのでしょうか？

**I'll get it done** (確実に終わらせます)

**You can count on me** (私に任せてください)

**I won't let you down** (がっかりさせません)

**I'll give it my all** (私のすべてをささげます)

**I'll work hard on it** (一生懸命取り掛かります)

直訳すると ( ) 内のような意味になりますが、全て「頑張ります」と言っています。上記 5 つの言い方であれば「任せて大丈夫だな」と思ってもらえると思います。

## ✓ 「安い」を **Cheap** というと失礼になる!?

Cheap という単語には「安っぽい」という意味が含まれているので要注意です。例えば、本当は「安い (のにおいしい) ワイン」という意味で使いたかったのに “Cheap Wine” と訳してしまうと「安っぽいワイン」という意味として伝わってしまいます。

安い＝お得！という意味で使う場合は…

**Affordable**

**Budget**

★**Good deal(Good buy)**

**Reasonable**

などを使うといいでしょう。人によりますが、特に “Good Deal” を良く使う印象があります。例：**This Wine is a good deal!** (このワインお得だった!)  
この Wine の箇所を服 (Clothes) や靴 (Shoes) などに変えて使うことが可能です。

## ✓ 「おごるよ！」に **Pay** は使わない方が無難?

「おごるよ」というときに “I’ll Pay for it” (私が払うよ) というのは、間違っ  
てはいないのですが、ものすごくストレート。

日本語に訳すと「今日払うよ」ではなく「今日は私がお金を払います」と言  
われたイメージで、全然軽く聞こえません。

「今日は私がおごるよ!」「今日は私が出すよ」とさらっと伝えたい時は

**It’s on me**

**I’ll get it**

**I’ll buy you ~ (例: I’ll buy you a drink)**

**It’s my treat**

などを使うといいでしょう。



## ✓ 「待って！」は **Wait!** と言わない方がいい!?

“Wait!” は「待て！」と言っているようなもの。日本語でも友達に緊急でもない限り「待て！」とは言いませんよね。

仲のいい友達であればまだいいのですが、緊急を要する場合以外は、以下のような使い方がかっこいいでしょう。

**Hold on**

**Hang on**

**One second**

**Just a second**

**Give me a second**

※**second** は **minute** でも可



※丁寧に言う場合：**One moment please. Just a moment please.**

色んな言い方がありますが、使いやすいものを覚えてしまうのがいいでしょう。

## ✓ すぐ行くよ！という場合 **Go** は使わない

行く＝GO と習っていたのに…と思うかもしれませんが、会話の中で「今行くね」などという場合には Go は使いません。では何て言うのでしょうか？

**I'm coming !** (今いく!)

**On my way !** (向かってる!)

※行く場所が決まっている場合には Go を使います。郵便局に行く場合には **I'm going to the post office.**

ちなみに「今行きます」のように少し丁寧に言いたい場合には **I will be there soon** などと使うといいと思います。

## ✓ すぐ戻るのに Come Back と使うと

### しばらく戻らないと思われる？

「すぐ戻ります」を訳すと “I'll come back soon” となりがちです。もちろん文法的にも何も間違っていないんですが、“Come Back ”というと2,3か月後に戻ってくるイメージがあります。もしくはいつか分からないけど、そのうち…というニュアンスも含まれることがあるのです。気軽に「すぐ戻るね」と言いたい場合は…

**Be right back.(I will be right back)**

**In a minute! (I will be in a minute)**

会話の中では I will の部分は使わずに “Be right back” などと省略して使うことが多いです。

## ✓ Okay は「大丈夫！」ではない？

その時の状況にもよりますが “Okay” という単語には「(あまりよくないけど) まあいいよ」というニュアンスが含まれることがあります。

例えば…「How are you?(元気?)」「I'm Okay」だと「まあまあ(そんな良くない)」というように伝わるので “Just Okay?” (OK なだけなの？大丈夫?) と聞かれたりすることもある。

他にも、ホームステイ先などで「料理どうだった？ Was the food okay?」と聞かれ “It's okay!” と答えると本当は「おいしかったよ」と言いたかったはずでも「まあまあでした。(おいしいわけではない)」と伝わってしまい、非常に失礼な返答になってしまいます。

この場合は…

**“It was great(Good)” (美味しかったです)**

他の例でも見てみましょう

“Is it okay to smoke here?” (ここでたばこ吸ってもいい?)

“It's okay” (別にいいけど) になってしまうので、この場合は…

**Sure!**

**Of course!**

などを使うといいでしょう。

## ✓ What do you do? は「今何しているか」を聞いていない

What do you do? は初めて会ったときなどによく使われます。意味は「ご職業はなんですか?」です。What is your job? と同じ意味で使われますが、What is your job? と聞いてくる人はほとんどいません。ですので、逆に質問するときにも…

### What do you do? (for a living が後ろにつく事も多い)

と聞きましょう。こう聞くことで、たとえ学生でも *I'm a student!* と答えられますし、社会人であれば *I'm an engineer* (エンジニアです) などと答えることもできます。リスニング問題などにもひっかけ問題などで出ることがあるようなので要チェック!

## ✓ Thank you! と言われたら *You are welcome* 以外になんて答える?

日本語でも「どういたしまして」って正直あまり使わないですよね。英語でも同じです。

日本語の場合「ありがとう」言われたら、「いえいえ～」とか「気にしないで～」なんて答えることが多いと思います。では英語ではなんて言うのでしょうか?

「気にしないで」

- **No Problem**
- **Don't mention it**
- **No worries**

「いえいえ」

- **That's ok**
- **Sure**



## ✓ 病院に行く = Go to Hospital というものすごく心配される!?

「風邪ひいたから病院へ行く」程度であれば Go to Hospital とは言わない方が無難です。Hospital は大病院（総合病院など）を意味するので、何か手術するような大病にかかっているのか？と思われてしまうかも？  
ちょっと病院へ…くらいの場合は以下のように伝えてみてください。

### See a doctor (医者に会う)

「今日病院行くんだ」と言いたい時には

**I have a doctor appointment**

**I'll go see a doctor tomorrow for a medical checkup**

※Medical Checkup は定期健診の意味

## ✓ 座ってください = Please sit down ではない!?

「座る」=Sit down と習いましたよね。より丁寧に言うなら Please をつければいいと思いませんか？

“Please sit down”は間違っていないがニュアンスとしては「お願いだから、座ってくれ」と言われているように聞こえることがあります。例えばレストランに小さな子どもと行ったはいいけど、遊びまわって騒いでいる。そんな時に「Please sit down….(お願い座って…)」と使うイメージでしょうか。遊びに来た友人に「どうぞ座って」と言いたい時には…

### Please have a seat

(お友達であれば Please はなくても OK)

と言うと自然に聞こえます。



## ✓ わかりません=I don't know は失礼かも？

良く使う “I don't know” も言い方やシチュエーションによっては失礼な言い方に聞こえるときがあります。例えば、「何時から授業始まる？」 “What time will the class start? (授業は何時からだっけ?)” “I don't know (そんなの知るか)” ととても冷たい印象を与えます。

この場合には…

### I'm not sure (よく分からないなあ)

これは確信が持てないときに使え、I don't know より柔らかい印象を与えます。ただ、

### I'm not sure, let me ask her

(よくわからないけど、彼女に聞いてみる)

### I'm not sure but I'll try to find out

(よくわからないけど、確認してみる)

のように一文付け加えるとより親切な回答になるので挑戦してみてください。

## ✓ No, thank you! は失礼かも!?

断るときは “No, thank you” と言いなさいと習ったかと思いますが、時に失礼な印象を与えますので気を付けたい言葉です。例えば…レストランで “Would you like another cup of coffee?(コーヒーのおかわりいかがですか?)” と聞かれて “No thank you! (いいえ、結構です!)” と答えるときつい印象を与え、「もう少し優しく言ってくれてもいいのに…」と思われてしまうかも。表現を柔らかくするためには…

### Thank you, but no thank you (ありがとう、でも結構です)

### I'm good (結構です)

と伝えるほうがいいでしょう。

## ✓ わかりましたか？を **Do you understand?** と訳すのは危険

親が子供に「危ないことは絶対にしないで、わかった？」と怒っている時の「わかった？」の箇所。これは “Do you understand?” “Do you understand me?” を使います。しかしこれを同じように「わかった？」と友達に聞くときに使うと「あんた、わかってんの？」と上から目線な返答のようにも聞こえますので、気を付けましょう。この場合は、“**Make sense**” を使うといいでしょう。

### **Am I make sense to you?**

(私が言ったことは筋が通っていますか?)

=つまり理解できますか？という意味です。  
よりカジュアルには、

### **Make sense?**

### **Get it?**

など短くして使うこともありますので、  
ぜひ覚えておいて使ってみてください。



## ✓ **Be quiet** は命令です

「ちょっと静かにしてほしいな」と思ったときに “Be quiet” は NG です。「静かにしろ！」と命令口調で言われているように聞こえます。  
この場合は “keep it down” が便利です。そしてこの言葉はよく使われています。  
使い方は …

### **Could you keep it down?**

### **Keep it down, please.**

もちろん “Be quiet!” や “Shut up!” も使われていますが、より自然に “Keep it down” も使えるように覚えておくと良いと思います。

# Bonus contents ①

日本に遊びに来た外国人観光客や友人に  
絶対言わないでほしい2選

## ✓ Can you ~?

Can you speak Japanese? や Can you use chopsticks? は、訳すと「日本語話せますか?」「お箸使えますか?」なので文法的には間違っていないし、一見なんで?と思うかもしれませんが、これには「(話せて当たり前だと思うけど)日本語話せるの?」と聞こえてしまいます。「(お箸なんて使えて当たり前だけど)お箸使えるの?」のように聞こえていると思うとぞっとしますね。

この場合は…

**Do you speak English?**

**Do you use chopsticks in your country?**

と“Do you” に変えるだけで、ただ単純に「日本語が話せるかどうか」、「お箸が使えるかどうか」を聞いているんだと伝わります。

よくありがちなのが「納豆食べられる?」「Can you eat natto?」

この場合も同様に(どうせ無理っしょ、外人は)が前提で聞かれているように聞こえるので「Do you like natto?」や「Have you ever tried natto?」などと聞き方を変えるほうが無難です。

## ✓ Why ~??

日本を旅行する外国人観光客や友人に「何で日本に旅行にきたんですか?」「なんで日本を旅行先として選んだのか?」と聞きたくて“Why did you come to Japan?”と聞いてしまいがちです。この言い方も、Can you~?と同様に文法的には問題ないのですが、実はすごく失礼に当たる言い方なのです。「一体なんで日本に来たの?」というニュアンス。「あれ、来ちゃだめだった?」と思わせるように聞こえます。

この場合は…

**What brings you here?**

(何があなたを日本に連れてきたの? (持ってきた))

となり、「なぜ日本を旅行先として選んだのか」という質問であることが伝わります。そうすると“I wanted to try REAL Japanese food! (本物の日本料理を試したかった)”などのように答えてくれると思います。

# Bonus contents②

## High Level English

### ✓ Want to ~はしたいという意味だけではない？

“Want to ~”は「~したい」という意味で習ったかと思いますが、それだけではありません。

問題1：この文章を訳しなさい

**Do you want to clean the restroom (トイレ) ?**

**回答** × トイレを掃除したいですか？

○ トイレ掃除してくれませんか？

Want を使っていても、「したいかどうか」を聞いているわけではなく、「~してくれませんか？」という意味で使われています。これはアルバイト先などでも良く使われる表現なので、覚えておくと便利かもしれません。

答え方として YES の場合は “sure” などがいいでしょう。断る場合には「Sorry I have to go home」などと、できない理由を伝えるといいでしょう。

ではこの問題はどのように

問題2：この文章を訳しなさい

**Do you want to go shopping with me?”**

**回答** × 私と買い物に行きたいですか？

○ 私と買い物に行かない？

ここでは、「~しませんか」という意味で使っています。

答え方としては、YES の場合には “I would love to” や “I do!” “Sure” などが適切。行けない場合には “I would love to but ~~~ (理由)” など「行きたいけどいけない」といった形で返答するとスマートです。

### コラム 「旅行先で具合がわるくなってきたけど、英語話せない！」

そんな時に使えるフレーズは “I have a problem here” です。

Here の箇所とその痛い箇所を指さして示せば、どこが悪いのかを伝えられるので、どうにかかります。絶対にがまんせず乗り越えましょう。

英語は完璧である必要はありません。伝えることが大事です。勇気を出して「伝える」ことから始めましょう！